

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

# ほっかいどうの社会保障

2012年3月9日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 一体改革への批判相次ぐ

### —協会けんぽ北海道 「一体改革」対話集会—

3月8日、協会けんぽ北海道支部は「社会保障・税一体改革に関する対話集会」を開きました。同支部は、来年度からの保険料の値上げに反対し、一体改革にも、協会けんぽの財政基盤支援が何も触れていない事など批判的でした。そのため、厚生労働省から講師を迎え開いたものです。

講師の厚生労働省政策統括官付参事官は、一体改革について1時間余りで、今後の医療費の伸びと財政問題を中心に説明。「小泉改革で医療費を抑制できた」と自画自賛し、先の国会で小泉進次郎議員が高齢者の窓口負担を増やせと質問したことにも触れ、さらなる窓口負担増の必要性も主張しました。

同支部の代表は「保険料が4年連続の値上げになり、事業主の負担も大変。赤字でも保険料は負担しなければならない。特に高齢者医療の支援金が重い。医療保険は都道府県ごとの制度では難しい」などと発言しました。

参加者からも「消費税増税は景気をさらに冷え込ませるのでは」などの批判も出されました。民医連からの参加者は「説明を1時間聞いても安心も誇り感じられなかった。大綱には5年後以降は示されていないがどうなるのか。小泉改革で医療が崩壊寸前。医療費が払えず手遅れ死も生まれ、生きていけない状況が広がっています。世論調査でも92%が社会保障に不安を感じています。国民の暮らしの実態や要求を踏まえた内容にすべきだ」と批判しました。

参事官は私見として「5年後以降は消費税25%程度必要」と回答、庶民の実態については何も答えませんでした。



### 3.3 「ストップ消費税増税！増やせ社会保障！」集会から

6人の「一言アピール」を紹介します。今回は東部民商の中沢さん、新婦人の諏訪さんの発言です。

#### 消費税は最悪な税金 『このままでは暮らしていけない』 中沢さん



「消費税は導入当時から、資本主義の中でも最悪の税金と言われていています。3%、5%、8%、10%と値上げされるたびに私達の生活は本当に厳しくなります。私達の商売人は、くらしと商売が一体になっています。このままでは生きられません。是非、政府や財界に対しては『生きさせろ』、そして私達は主体的に『生き抜こう』。そのために消費税増税を阻止するために一緒にがんばりましょう」



#### 野田首相聞いて下さい 増税するなら大金持ちや大企業に 諏訪さん



「新婦人では私達の声を聞いて下さいと野田首相にFAXを送る運動をしています。4通を紹介します。『年金は減らされ、介護保険料は上がる。今でも大変なのに消費税を上げるのは絶対許せません』『10%になったらまるまる1ヵ月の生活費がなくなる私達の暮らしを考えたことはありますか』『今もらっている年金ではライフラインを維持するだけで一杯いっぱいです。庶民いじめはやめて下さい』『首相は札幌で餓死者がでたのを知っていますか。首相は7年前の野党時代にイギリスの新聞の論文を読みあげ「消費税の増税は最も愚かで最も無意味で破壊的な経済政策」と批判したことをお忘れなのですか。増税するなら大金持ちや大企業に求めて下さい』以上です」

各種保険料の値上げ、扶養控除等廃止による負担増、介護・医療は？・

「4月からどうなる？道民の生活！被害を減らすには」学習会

4月21日（土）13:30～ 教育文化会館 402 研修室

\*3月13日は行いません。

